

1. 交通科学博物館50周年記念展「コウハク家の歴史

～昭和レトロの暮らしと、のりもの物語～」を開催します

昭和30・40年代は、日本が高度経済成長期を迎え、日々様々なことがめまぐるしく変わっていった時代です。当館は、昭和37年に国鉄大阪環状線開通記念として、環状線弁天町駅に隣接して開館し、来年1月には、開館50周年を迎えます。これを記念して、昭和30～40年代の交通 - 航空機、船舶、自動車、鉄道 - にスポットライトを当てて紹介します。

- (1) 催物名 交通科学博物館50周年記念展
「コウハク家の歴史 ～昭和レトロの暮らしと、のりもの物語～」
- (2) 開催期間 平成24年1月21日(土)～5月27日(日)
- (3) 内 容 交通科学博物館が開館50周年を迎えることを記念して、開館当時の交通について取り上げます。架空の家族「コウハク家」を通して、昭和30・40年代の時代背景の中で、どのような乗り物が登場し、普及・発達していったのかを紹介します。
- コウハク家の20年
家族旅行や海外旅行、マイカーなどが普及し始めた昭和30・40年のごく一般的な家庭の暮らしの様子と乗り物との関連性を、架空の家族「コウハク家」を通して紹介します。
- コウハク家の居間
昭和30年代の一般的な家庭「コウハク家」の居間を再現展示します。また、タバコ屋・駄菓子屋などの店構えを紹介すると共に、当時の生活や子供の遊びの様子も併せて紹介します。
- くらしの値段
特急、新幹線、飛行機などの乗り物の運賃や、乗用車の価格などで、当時の物価を紹介します。
- 昭和30年・40年のあそこ
「衣」・「食」・「遊」をテーマに、当時流行した「モノ」や文化を紹介します。
- (4) 関連展示 「昭和30～40年代 港区メモリー
～交通科学館が開館したあの頃～」
- 場 所 エントランス・ギャラリー
- 期 間 平成24年1月21日(土)～5月27日(日)
- 内 容 上記展示に合わせて、当館が所在している大阪市港区における大阪市電や大阪環状線、瀬戸内航路の要である弁天ふ頭の様子など、昭和30～40年代当時の交通の様子を写真やパネルで紹介いたします。
- (5) 協 力 大阪市交通局、大阪市港区役所、首都高速道路株式会社、なにわの海の時空館、船の科学館、港新聞社、モデルシップ友の会
(順不同・敬称略)

2. お正月イベント スタンプラリー「新幹線をあつめよう！」を行います

- (1) 催物名 お正月イベント スタンプラリー「新幹線をあつめよう！」
- (2) 日にち 平成24年1月3日(火)・4日(水)
- (3) 時間 10時～17時 (シート配布は、16時30分まで)
- (4) 場所 屋外展示場 他
- (5) 定員 各日500名
- (6) 内容 根強いファンが多いスタンプラリー。このお正月は、開催中の企画展にあわせて「新幹線」をテーマにしています。

開催中の企画展「日本縦断！新幹線～その魅力を探る～」は、平成24年1月9日(月・祝)までです。

3. 第6室にて「新規収集品展 鉄道錦絵」を開催します

当館第6室「鉄道とくらし」内にて、当館が近年収集した鉄道など明治期の交通の様子を描いた錦絵等を展示します。

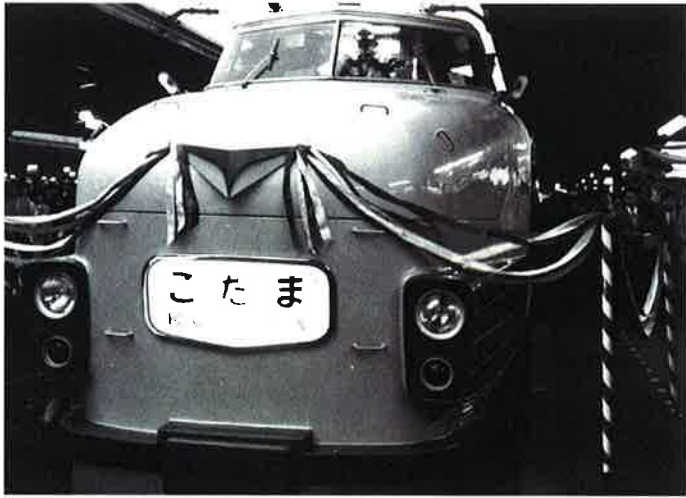
- (1) 展示名 「新規収集品展 鉄道錦絵」
- (2) 展示場所 第6室「鉄道とくらし」
- (3) 期間 前期 平成24年1月14日(土)～ (予定)
後期 平成24年3月3日(土)～ (予定)
- (4) 内容 当館が近年収集した資料を、テーマを決めて公開します。今回は、鉄道など明治期の交通の様子を描いた錦絵等34点を、実物資料を中心に解説パネル等で紹介します。

【展示予定の資料】

- 前期 汐留より蒸気車御開業祭禮之図 明治5年
- 後期 東京高縄品川口蒸気車往来之図 明治5年

◆ 1月の催物ニュース 写真

1月の催物ニュースの参考写真です。



1. 交通科学博物館50周年記念展「コウハク家の歴史 ～昭和レトロの暮らしと、のりもの物語～」展示予定の写真
 左：大阪駅での特急「こたま」出発式 昭和33（1958）年
 右：開館当初の交通科学館 昭和37（1962）年



2. お正月イベント スタンプラリー
 「新幹線をあつめよう！」 配布シート



3. 「新規収集品展 鉄道錦絵」展示予定の
 「汐留より蒸気車御開業祭禮之図（明治5年）」